

1. 目的

今回見に行ったのは、ネイバーフッドアソシエーションと協力関係を築いている NPO の活動。一つの地域を主に活動しているという説明が最初にあったのだが、自分も一つの地域で頑張っているものの一人なので、何か得るものがあるのではないかと思い選びました。

2. 内容

(1) ここでの取り組み

ご説明頂いたランディーさんは、地元の商工会の中心で今も依頼があれば対応するような技師。80 年前の建物で、以前は消防署だったところを事務所としている。

この NPO のミッションは、以下の 2 つ。

- ・ 飢えとホームレスを防ぐ
- ・ 年齢層を問わず教育サービスを届ける

そのために行っているのは、次の 4 つの事業

1. 小さい子供たち（未小学生）
2. ワカモノ
3. シニア
4. 貧困防止

現在は、16000 人ぐらいが利用しているそうで、年間予算 200 万ドル。国、州、郡、市または個人の募金、企業、教会などからで運営。スタッフは社員は 70 人ぐらい、週 20 時間働くパートさんが 40 人から 50 人とのことだった。

現在では、ネイバーフッドアソシエーションを中心に 住民、企業体、NPO が協力してとてもいい関係ができていそうである。

説明の中で興味を持ったのは、非常食の提供のこと。資格は定収入の方で、

1. 食べ物が入った box をもらえる
2. 買い物プログラムもある

等のルールの下、保存庫には 1 家族 5 日間以上、十分生活できる量の食料が入っている。なお、食べ物はオレゴンフードバンクのほか、ボーイスカウト、企業、個人、教会、フードドライブで集めているものもある。さらに、野菜、果物は自分で野菜を作って余ったものを持ってきてくれる人もいる。ちなみにここには、フードスタンプでは買えないおむつやトイレットペーパーなどもあった。

利用者は、アフリカ系、ラテン系、アジア系など様々で、年齢層は若いものも多いとのこと。若い女性は恥ずかしいと思う人もいるが、多くは知っているので利用しているようだ。

(2) 突き動かすもの、それは小さい時から形成されるハート

話の最後で、やはり自分を動かす原動力はハート「何かをしたいという気持ち」だという話があった。ここでは、高校だけでなく、小・中学校も自分たちが住んでいるコミュニティーに貢献することをモットーにしている(33 時間ボランティアをしないといけないなど) 他、宗教団体もボランティアをするように言うそうで、本当に市民参加が盛んな地域であ

ると実感した。

3. 感想 ～原動力は「恩返し」～

ランディーさんと一緒に説明して下さった施設管理者の方がおっしゃられた言葉「祖父がイタリアから15歳の時に移民をしてきて成功した。自分の世代では移民を温かく迎えてくれたコミュニティーへのお返し。今は、生活環境にいい変化を起こせるかを考えている」という言葉に、この地域のコミュニティーの力の深みを教えて頂きました。自分の地域には正直深みはないかもしれない、ただ始めなければ深みはできない。次の世代のため、じっくりゆっくり力をつけていけるよう、動き出していこうと思いました。